



日耳鼻医学会FAXニュース

NO 113

平成18年3月17日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimujenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

改定診療報酬点数表参考資料(日医版より)

J095-2 鼓室処置

鼓室処置は、急性又は慢性の鼓膜穿孔耳に対して鼓室病変の沈静・制御を目的として、鼓室腔内の分泌物・膿汁の吸引及び鼓室粘膜処置等を行った場合に算定する。

J096 耳管処置

(1)「1」には、耳管通気が必要とする表面麻酔薬又は血管収縮薬等の塗布、噴霧等の鼻内における処置が含まれており、これらを包括して1回につき片側毎に所定点数を算定する。但し、鼻処置を必要とする疾病があつて別に鼻処置を行った場合は別に算定出来るが傷病名の記載を要する。

(2)ポリツェル球により両耳に通気する場合は、片側・両側の区別なく1回につき所定点数を算定する。

(3)耳管処置に当たり、咽頭処置を行った場合であっても咽頭に特に異常がなければ、咽頭処置は算定できない。

J098-2 扁桃処置

(1)扁桃処置は、慢性扁桃炎の急性増悪、急性腺窩性扁桃炎、扁桃周囲炎又は扁桃周囲膿瘍等に対し、膿栓吸引、洗浄等を行った場合に算定する。

(2)所定点数には咽頭処置が含まれ別途算定出来ない。

J099 間接喉頭鏡下喉頭処置

(1)これには、喉頭注入が含まれており、喉頭蓋、仮声帯、披裂部、声帯等の病変に対して処置を行った場合に算定する。

(2)喉頭処置後の薬剤注入は、所定点数に含まれる。

診療報酬、2107区分に 06年度改定で簡素化

厚生省は06年度診療報酬改定の点数の簡素化で従来の2189区分を2107区分にスリム化した。簡素化された82区分の内訳は、医科が58、歯科が23、調剤が1。医科では紹介患者加算や紹介外来加算、急性期入院加算など、初診料や入院基本料に上乗せする加算を廃止したほか、老人診療報酬点数も原則として一般の診療報酬点数と一本化した。また、各学会から要望のあった新規技術を積極的に保険適用する一方、技術の進歩などによって既に医療現場で実施されていない旧来型技術の評価も廃止、統合する。

「人気」「特許切れ」医薬品、来月、大幅に安く

4月以降の「薬価」平均下げ幅は6.7%であるが、タケプロン15%、タミフル13%、パリエット15%など平均を大幅に上回る下げ幅となった。医療費削減と特許切れ成分を使う後発品の普及に向け、厚生省が大型医薬品を狙い撃ちした。特に予想より2倍以上売れた医薬品は一定の計算式によって下げ幅を拡大、これに該当するのは8つで、前回の薬価改定ではゼロだった。

今回の引き下げが製薬会社の経営に与える影響は大きく、大手が予想する国内売上高の減少率は7%台と、薬価の平均下げ幅を上回る。

昨年の医療事故は1114件、「死亡」143件

日本医療機能評価機構の医療事故防止センターが8日に公表した「医療事故情報収集等事業第4回報告書」によると、報告義務がある272医療機関から昨年1年間に1114件の医療事故情報が寄せられていることが分かった。

「治療処置」と「療養上の世話」の事故が半数以上を占め、患者が死亡したケースも143件あった。

1114件を事故別に見ると、最も多いのが「治療処置」の336件(30.2%)で、「療養上の世話」256件(23.0%)の2つで全体の半数以上を占めている。そのほか「医療用具など」142件(12.7%)や「薬剤」57件(5.1%)が上位を占めている状況は変わっていない。

診療報酬改定保険点数説明会

厚生労働省は7日、06年度診療報酬改定について都道府県の担当者らを対象にした説明会を東京都内で開きリハビリなどの施設基準を示した。続いて告示や近日中に出す予定の通知案に基づき個別項目の説明に当たった。

領収証発行は6カ月の経過措置

医療機関に義務付ける領収証の交付では、「診療報酬点数表の各部単位で金額の内訳が分かるもの」と記載内容を説明し、4月1日に準備が間に合わない医療機関は6カ月の経過措置を設けると説明した。

さらに患者から詳しい明細書を求められた場合の発行は努力義務となるが、その際の費用については基本的には医療機関と患者との契約によるとしながらも「実費相当が適当」とした。

経営主体別診療科別診療諸率 05年10月分

【医科入院外 抜粋】

	1件当点数	1件当日数	1日当点数
総合計	1,040	1.7	622
診療所計	911	1.7	527
内科診療所	1,036	1.6	635
小児科診療所	866	1.8	480
眼科診療所	672	1.2	562
耳鼻科診療所	736	2.0	371
耳鼻科本人	719	1.8	405
耳鼻科家族3才以上	699	2.0	358
耳鼻科家族3才未満	962	2.7	356
高齢者医療保険8割	869	2.6	339
高齢者医療保険9割	883	2.7	329

プロスタグランジンD₂-トロンボキサンA₂受容体拮抗剤
アレルギー性鼻炎治療剤

バイナス錠
◆50mg ◆75mg Bayhidol® (バイナソール錠) 経口投与剤

経口投与剤。処方せん必要。 050-5555-5555 (バイナソール) 050-5555-5555 (バイナソール)

効能・効果、用法・用量、用法・用量に関する使用上の注意、禁忌を添付文書上の添付書に基づいては、医師の指示に従って服用して下さい。

※本剤の小児服薬に対する安全性は確認していません。(添付書参照下さい)

バイエル薬品株式会社
Bayer HealthCare